

PERC が宇宙科学研究所（ISAS）大学共同利用連携拠点に採択 「惑星探査基盤技術開発・人材育成拠点」が始動！

千葉工業大学惑星探査研究センター（PERC）では、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所（ISAS）の大学共同利用連携拠点に「千葉工業大学 惑星探査研究センター 惑星探査基盤技術開発・人材育成拠点」として、平成29年度に採択され、平成30年度から本格的に活動を開始しました。この大学共同利用連携拠点では、小天体・ダストの観測・測定機器の開発を主体的に実施する一連のスキームを通して、太陽系科学探査を観測・観測装置の面から担う人材を継続して育成するサイクルを確立します。それらの人材育成サイクルを通して、アストロバイオロジーの新展開も目指します。

また、PERC は、現在検討中の「深宇宙探査技術実証機 DESTINY⁺」計画において、大学共同利用連携拠点の枠組みを活用しながら、ミッションの詳細検討や搭載観測機器の検討に参画し、科学的成果の創出に向けて中心的な役割を果たします。

【JAXA 宇宙科学研究所 大学共同利用連携拠点】

宇宙科学研究所は大学共同利用連携拠点で新しい大学共同利用の在り方を試行しています。これは文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会の平成24年（2012年）9月の答申「大学共同利用機関法人及び大学共同利用機関の今後の在り方について」に沿った考え方です。大学共同利用連携拠点は、大学とISAS のマッチングファンドで拠点を立ち上げられ、「大学との双方向連携の強化」により、宇宙科学プロジェクトの創生と実施をめざしています。4年間を目処に活動し、終了後は大学が活動を継続することを期待しています。

（宇宙科学研究所ウェブサイトより抜粋、<http://www.isas.jaxa.jp/researchers/partners/>）

【千葉工業大学 惑星探査研究センター 惑星探査基盤技術開発・人材育成拠点】

小天体・ダストの観測・測定機器の開発を主体的に実施する一連のスキームを通して、太陽系科学探査を観測・観測装置の面から担う人材を継続して育成するサイクルを確立します。それらの人材育成サイクルを通してアストロバイオロジーの新展開も目指します。具体的には、ダスト観測装置（カウンタおよびアナライザ）、天体表層撮像用観測カメラ、ダスト捕集機構などの機器の開発とそれらを主体的に開発できる人材の育成を目指しています。

＜広報関連についてのお問い合わせ＞ 海老根 克磨（エビネ カツマ） 千葉工業大学 入試広報課 〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1 TEL：047-478-0222 FAX：047-478-3344 E-Mail: katsuma.ebine@p.chibakoudai.jp	＜内容についてのお問い合わせ＞ 荒井 朋子（アライ トモコ） 千葉工業大学 惑星探査研究センター 主席研究員 〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1 TEL：047-478-0320 FAX：047-478-0372 E-Mail: tomoko.arai@it-chiba.ac.jp
--	--